

鳥取中央育英高校を応援する会

本日は、鳥取中央育英高校を応援する会の総会が多くの来賓の皆様にご出席のもと、開催できましたこと感謝申し上げます。応援する会は、同窓会とは別に高校、生徒を直接、あるいは間接的に支援することで、持続的な発展をめざすために設立されました。

町との関係について、お話します。まず、これまでの経過ですが、令和2年度の入学者数は、120人を超えていましたが、令和4年度の入学者数は、64人でありました。2年連続で定員120人の3分の2、80人を下回れば学級数減とする決定が県教育委員会より出され、これに対処するため、また、地域活性化のために鳥取中央育英魅力化事業の取り組みを始めたところです。令和5年度に高校魅力化専門員の配置し、中部地域の中学校の校長と面談し、育英高校についてお話をし、より多くの中学生に高校進学を選択肢として育英高校を選んでいただけるよう、取り組みを進めたところです。令和6年度入学者数は82人となりました。令和6年度は、高校魅力化専門員に加え、高校魅力化マネージャーとしては林かりん氏を配置し、取り組みを強化したところです。生徒が町内を散策し、活気のある北栄町となるよう魅力発見チケット贈呈したり、魅力化動画作成をし、宣伝に努めました。これらの取組は多くのメディアに取り

上げられ、認知度の向上につながったとは思いますが、令和7年度入学者は目標を2人下回ってしまいました。令和7年度は、高校魅力化マネージャーにミスター駅伝こと岡本直己氏を配置し、陸上の臨時コーチとしても活躍していただいています。また、懸案となっていました女子寮の整備について、六尾北団地住宅を活用し、改修に向けて準備を進めることといたしました。なお、この件については、鳥取県及び鳥取県教育員会と高校の魅力化推進に係る連携協定の締結しており、県の支援を確実にしています。

また公益財団法人竹歳敏夫奨学育英会の解散に伴う基金の廃止と竹歳敏夫奨学育英基金を創設し、この会のへ資金調達を可能としたところです。

これからも町として、できる限りの支援をお約束し、応援する会と連携を取りながら、一人でも多くの生徒が入学するよう祈念し、あいさつとします。

令和7年9月13日

北栄町長 手嶋俊樹